

編集後記

本号が読者の皆様のお手元に届けられる頃は、桜前線も漸次北上し、暖冬だったとはいえ、長い冬とも別れ、気分も一新されご健勝にご活躍のことと推察申し上げる。

今月号の特集は“最近の義肢・装具の話”である。先ず、初山先生よりは、昨年、身分法が制定された義肢装具士法に関しての解説を頂いた。わが国のリハビリテーションにとって、新しい時代の幕開けを告げるエポックでもあるが、新しく義肢装具士になられた方々の研鑽と健闘を望んでやまない。

次に、今秋、神戸市にて開催される第6回 ISPO 世界会議について、その全貌を沢村先生に紹介して頂いた。大成功裡に幕が閉じられることを祈ってやまない。そのためには、一人でも多くの方々の大会参加を期待したい。

最近の義足の進歩については、蜂須賀氏らがわが国においても製作件数が漸増している Narrow M-L ソケットを中心に論述した。これらが、日本人の体型や ADL に適合するか否かは今後に残された課題であろう。

最後は、渡辺先生より最近の装具の話題として、永年にわたるご研究の成果の一部

を御執筆頂いた。更に、ご研究のご発展とご指導をお願いしたい。

研究と報告、短報も興味深いものが並んだ。木佐氏らは、発達障害児の療育の中で、TRH 投与の有効性について報告された。この種の薬物療法と運動療法の併用にて、治療効果は増大するとも考えられるので、研究の発展を期待したい。宇川氏らからは、東大リハビリテーション部の一連の脳卒中の体力に関する研究の続編を頂いた。また、太田氏らよりは、高齢化時代を身近に感ずる 90 歳以上の超高齢脳卒中患者に対する治療経験の報告を頂いた。貴重な助言が満ちていると感じた。

講座は、福田先生よりは小児中枢性神経麻痺、中森先生からは CT による大脳深部構造について解説して頂いた。両者とも、ご経験を交え、分かりやすく、参考となることが多い。厚く御礼申し上げる。

最後に、巻頭言に長谷川氏が述べておられるように、リハビリテーション医学の発展は、従来の臨床関連学科の知識も重要ではあるが、生物科学としてのリハビリテーション医学の学問的な確立は、基礎医学的側面からの再検討も重要な課題であろう。

(緒方 甫)

編集顧問

天 児 民 和
大 島 良 雄
河 邨 文 一 郎
五 味 重 春
津 山 直 一
土 屋 弘 吉

編集委員

明 石 謙
上 田 敏
緒 方 甫
大 井 淑 雄
大 川 嗣 雄
千 野 直 一
横 山 巖

編集同人

赤 津 隆
今 田 拓
今 村 哲 夫
岩 倉 博 光
江 口 壽 榮 夫
小 川 孟
荻 島 秀 男
奥 川 幸 子
加 倉 井 周 一
小 島 蓉 子
斉 藤 正 也
笹 沼 澄 子
澤 村 誠 志
高 橋 勇
高 松 鶴 吉
武 智 秀 夫
土 屋 和 夫
土 肥 豊
永 井 昌 夫
中 村 隆 一
野 島 元 雄
野 村 歆
長 谷 川 恒 雄
初 山 泰 弘
福 井 園 彦
松 村 秩
三 島 博 信
矢 谷 令 子
米 本 恭 三
渡 辺 英 夫
(五十音順)

総合リハビリテーション (第17巻 第4号)

1989年4月10日発行 (毎月1回10日発行)

1部定価 1,803円 (本体1,750円・税53円)
(配送料60円)

(年ごめ予約購読料 20,518円)
(本体19,920円・税598円)
(送料弊社負担)

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-91 東京都文京区本郷5-24-3

電話 社内案内 (03) 817-5600

本誌編集室直通 (03) 817-5704

(担当: 山田・細田)

販売部直通 (03) 817-5659・5660

ファクシミリ (03) 815-7802

振替口座 東京 7-96693番

印刷所 三報社印刷(株): 電話 (03) 637-0005

広告申込所 朝東広社: 電話 (03) 409-8803

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo © 1989, Printed in Japan.
本誌の内容を無断で複写・複製・転載すると、著作権・出版権の侵害となることがありますので御注意下さい。